

社会と歯学 担当講座（分野）：口腔医学講座(予防歯科学分野)

第3学年 前期

前期 講義 31.5時間 実習 9時間

一般目標（講義）

歯科保健医療は、人間の健康の保持増進に欠くべからざる社会的な仕組みであり、また文化でもある。歯科保健医療を自然科学からのみ捉えるのではなく、人文科学、社会科学の視点から捉えることにより、国民の保健・医療・福祉に寄与しうる人間性と倫理性に富んだ歯科医師となるための能力を身につける。

講義日程

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
4月2日(水) 3限	予防歯科学分野 岸光男准教授	社会と歯学総論 社会における歯学を理解する。	1. 世界医師総会宣言と我が国の医の倫理規定を列挙する。 2. WHO 勧告と我が国の保健政策（健康日本21）の関連を説明する。
4月3日(木) 2限	予防歯科学分野 岸光男准教授	歯科医療関連法規（医療法） 歯科医療における医療法の意義を理解する。	1. 医療法が規定する事項を列挙する。 2. 医療法と医の倫理国際規定の関連を説明する。 3. 医療安全に関する医療法の規定を列挙する。 4. 医療施設の種類を列挙する。 5. 医療計画を概説する。
4月10日(木) 2限	予防歯科学分野 岸光男准教授	歯科医療職種と法規 歯科医療職法規を理解する。	1. 歯科医師法が規定する事項を列挙する。 2. 歯科医師法が規定する歯科医師の任務・義務・業務を列挙する。 3. 歯科衛生士法が規定する事項を列挙する。 4. 歯科技工士法が規定する事項を列挙する。
4月17日(木) 2限	予防歯科学分野 岸光男准教授	歯科医療関連職種と法規 薬事関連法規 保健・福祉職法規 地域保健関連法規 歯科医師と連携する職種の関連法規を理解する。	1. 歯科医師と連携する職種（看護師、言語聴覚士、診療放射線技師、臨床検査技師）を列挙する。 2. その他の医療連携職種（理学・作業療法士、視能訓練士、臨床工学技士、助産師）を列挙する。 3. 薬事法、薬剤師法を概説する。 4. 看護師助産師保健師法を概説する。 5. 社会福祉介護福祉法、介護保険法を概説する。
4月23日(水) 2限	予防歯科学分野 岸光男准教授	歯科医療に関する記録物とその管理 歯科医療に関する記録物とその管理を理解する。	1. 診療録、診断書、処方せん、歯科技工指示書、その他の記録物の記載と保存を説明する。 2. 記録物の管理（院内管理、院外管理、電子カルテ、個人情報の保護）を説明する。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
4月24日(木) 2限	予防歯科学分野 岸光男准教授	地域保健、公衆衛生関連法規 地域保健、公衆衛生関連法規を理解する。	1. 健康増進法が規定する事項を列挙する。 2. 地域保健法が規定する事項を列挙する。 3. 食品衛生法、感染症法、予防接種法、検疫法を概説する。
5月8日(木) 2限	非常勤講師 橋場友幹先生	歯科医療施設の管理 歯科医療施設の管理を理解する。	1. 歯科医療施設の開設、休廃止を概説できる。 2. 歯科医療施設の管理を概説できる。 (含、放射線管理) 3. 広告制限、院内掲示事項を概説できる。 4. 医薬品・医療機器の安全管理責任を概説する。 5. 医療廃棄物管理を概説できる。
5月14日(水) 2限	非常勤講師 田沢光正先生	地域保健総論1 地域保健の基本的な考え方および仕組みを理解する。	1. プライマリーヘルスケアを説明できる。 2. ヘルスプロモーションを説明できる。 3. 地域保健活動の進め方を説明できる。 4. プリシードプロシードモデルを概説する。
5月15日(木) 2限	非常勤講師 宮澤正人先生	地域保健総論2 地域保健行政の構造と機能を理解する。	1. 保健行政(WHO、厚生労働省、都道府県、市町村の関連)を概説できる。 2. 保健所と市町村保健センター、地域包括支援センターの役割を概説する。
5月21日(水) 2限	予防歯科学分野 稲葉大輔准教授	口腔疾患の疫学指標 口腔疾患の疫学指標について理解する。	1. 齲蝕の疫学指標について説明できる。 2. 歯周疾患の疫学指標について説明できる。 3. 不正咬合・歯列不正の疫学指標について説明できる。
5月22日(木) 2限	予防歯科学分野 阿部晶子講師	地域歯科保健各論1 母子保健・母子歯科保健 母子保健・母子歯科保健について理解する。	1. 母子歯科保健の意義と目的を説明できる。 2. 母子歯科保健活動の仕組みについて説明できる。 3. 乳幼児歯科健康診査について説明できる。 4. 1歳6か月児、3歳児歯科健康診査のう蝕罹患型を説明できる。 5. う蝕罹患型に応じた保健指導の内容を説明できる。
6月4日(水) 2限	予防歯科学分野 阿部晶子講師	地域歯科保健各論2 学校保健・学校歯科保健 学校保健・学校歯科保健について理解する。	1. 学校歯科保健の意義と目的を説明できる。 2. 学校歯科保健活動の仕組みについて説明できる。 3. 歯・口腔の健康診査票について説明できる。 4. 学校歯科医の職務について説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
6月5日(木) 2限	予防歯科学分野 南健太郎助教	地域歯科保健各論3 産業保健・産業歯科保健 産業保健・産業歯科保健について理解する。	1. 産業歯科保健の意義を説明できる。 2. 職域における歯科保健管理について説明できる。 3. 口腔に症状を表す職業性疾患の原因物質を列挙できる。 4. 口腔に症状を表す職業性疾患の予防法を説明できる。
6月12日(木) 2限	予防歯科学分野 岸光男准教授	地域歯科保健各論4 成人・高齢者保健・歯科保健 成人・高齢者保健・歯科保健について理解する。	1. 成人・高齢者歯科保健の意義と目的を説明できる。 2. 成人・高齢者の歯科保健の現状を説明できる。 3. 介護保険制度の意義と目的を説明できる。 4. 介護保険制度の仕組みを説明できる。
6月13日(金) 2限	予防歯科学分野 岸光男准教授	地域医療のしくみ 地域医療を理解する。	1. プライマリケアの要件を列挙する。 2. 医療連携と医療計画を説明する。 3. 医療施設の機能と役割を概説する。 4. 医療の効率的提供(クリニカルパスと地域連携クリニカルパス)を説明する。
6月19日(木) 2限	予防歯科学分野 岸光男准教授	社会保障制度 社会保障制度を理解する。	1. 社会保障の種類を列挙する。 2. 社会保険と保障の種類を列挙する。 3. 保険診療報酬請求について概説する。
6月20日(金) 2限	予防歯科学分野 相澤文恵助教	ライフステージに対応した健康教育 学習援助型の健康教育を理解する。	1. 健康教育の目的を説明できる。 2. 健康教育の理論について説明できる。 3. 行動変容に関わる要因について説明できる。 4. ライフステージに対応した支援方法について説明できる。
6月26日(木) 2限	予防歯科学分野 岸光男准教授	医療経済 医療経済について理解する。	1. 財源を列挙する。 2. 国民医療費における財源、制度、診療種類別内訳を概説する。 3. 国民医療費の推移について説明できる。 4. 歯科医療費の推移について説明できる。
6月27日(金) 2限	非常勤講師 佐々木勝忠先生	地域における保健医療福祉連携 地域における保健医療福祉連携を理解する。	1. 地域における保健医療福祉の連携を重視する。
7月1日(火) 2限	予防歯科学分野 岸光男准教授	国際保健 国際保健を理解する。	1. WHOの役割について説明できる。 2. 歯科保健の二国間協力について説明できる。 3. 歯科保健の多国間協力について説明できる。 4. NPO, NGO, JAICAの役割について説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
7月4日(金) 2限	非常勤講師 米満正美先生	特別講義 疫学特論 歯科疾患の疫学を理解する。	1. 歯科疾患の疫学を概説できる。

一般目標（実習）

歯科疾患の発生や進行には、単に口腔内要因のみでなく、人間を取り巻く自然的、社会的、文化的要因が複雑に絡み合っており影響している。社会と歯学の実習では、自らその原理を追求する態度を養うとともに、衛生・公衆衛生、社会と歯学の講義で修得した知識を深化させ、これらのことを総合して考え、実行する能力を身につける。

実習日程

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
6月13日(金) 3、4限	稲葉大輔准教授 岸光男准教授 阿部晶子講師 南健太郎助教	集団歯科検診 集団歯科検診を理解する。	1. 歯科集団検診ができる。 2. 歯科疾患のスクリーニングができる。
6月20日(金) 3、4限	岸光男准教授 阿部晶子講師 相澤文恵助教 南健太郎助教	検診結果の集計・統計 分析 検診結果の集計・統計 分析を理解する。	1. 歯科疾患の情報処理ができる。
6月27日(金) 3、4限	稲葉大輔准教授 岸光男准教授 阿部晶子講師 相澤文恵助教 南健太郎助教	健康教育 ライフステージに対応 した健康教育の方法を 理解する。	1. ライフステージに対応した行動目標を設定できる。 2. 視覚媒体を用いた健康教育ができる。

教科書・参考書（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書 名	著者氏名	発行所	発行年
教	スタンダード社会歯科学 5版	石井拓男ほか編著	学建書院	2014年
教	新予防歯科学 第4版	米満正美他編	医歯薬出版	2010年
参	新社会歯科学	可児徳子・末高武彦編	医歯薬出版	2005年
参	国民衛生の動向 2013/2014（「厚生 の指標」臨時増刊号）	厚生労働統計協会 編	厚生労働統計協会	最新版

成績評価方法

講義定期試験 80% 実習レポート 20% で評価を行う。

オフィスアワー

氏名	方式	曜日	時間帯	備考
稲葉大輔	B - i	月～金		不在の時は教室員に伝言のこと。
岸 光男	B - i	月～金		不在の時は教室員に伝言のこと。
阿部晶子	B - i	月～金		不在の時は教室員に伝言のこと。
相澤文恵	B - i	月～金		不在の時は教室員に伝言のこと。
南健太郎	B - i	月～金		不在の時は教室員に伝言のこと。

授業に使用する機械・器具と使用目的

[社会と歯学]

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的
デスクトップパソコン dynabook 一式	T552/47 1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料作成
プロジェクター	EB-1771WC3 1	視聴覚用機器	症例提示用
デスクトップパソコン一式	Pro6300 SF/CT 1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料作成
デスクトップパソコン一式	MateJ MJ29M/L-G 1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料作成